

平成24年度 当初予算要求の概要

建設局

要求総額 34,215 百万円

(対前年度予算 + 19.8 %)

※給料、職員手当、共済費等、繰入金等、各局で要求しないものは除く

局区予算要求方針

建設局では、道路や公園などの市民生活に欠かせない基本的な社会資本の整備及び維持管理を行っています。平成24年度の予算要求にあたっては、所管する**施設の適切な維持管理**に努めることはもとより、以下の点に重点をおいた予算要求を行います。また、維持管理コストを含む総合的なコスト削減を図るため、**舗装補修計画や橋りょう長寿命化修繕計画などに基づく計画的な維持補修**に取り組むとともに、**社会資本整備総合交付金など国費等の確保**にも努めてまいります。

暮らしの確かな安全・安心を確保するために

平成23年は東日本大震災や台風12号による災害など自然災害により、日本は、極めて甚大な被害をうけました。このような自然災害からの被害を最小限に食い止め、市民の生命と財産を守るために、

- ・災害時の救命救急や緊急物資輸送等に資する緊急交通路等の確保のための橋りょうの耐震強化
- ・国が実施する予定の大和川スーパー堤防と一体となったまちづくりの推進
- ・避難地機能を備えた公園の改修（防災用トイレの設置）

などを重点的に進めるとともに、**道路や公園などのバリアフリー対策**にも取り組み、誰もが安全・安心に暮らしていくことができる地域社会をめざすまちづくりを推進してまいります。

「持続可能な環境共生都市」を実現していくために

本市は「環境モデル都市」として、低炭素都市の実現をめざし、全庁的な取り組みを実施しています。建設局においても、

- ・南部丘陵の緑地保全に向けた取り組み
- ・緑化推進による緑の創出
- ・環境に優しい自転車利用を促進するための事業（コミュニティサイクル事業・自転車通行環境の整備など）
- ・中心市街地の市道における道路照明灯のLED照明灯への切り替え（効果検証事業）

などを実施し、人と環境に優しいまちづくりを推進してまいります。

誰もが幸せで暮らしの質が高く、賑わいと交流のあるまちの魅力向上をめざして

「堺市マスタープラン」にもあるように、都市において、人が集まり、交流することはまちの持続的な発展を支える要素です。また、すべての市民が幸せを実感できるまちとするため、暮らしの質の向上を図ることが求められています。そのために、

- ・百舌鳥古墳群の世界遺産登録に向けた魅力向上事業（大仙公園及び周辺道路の整備など）
- ・既存ストックを有効に活用するためにも、幹線道路ネットワークにおけるミッシングリンクの解消を図る事業（阪神高速道路大和川線事業・都市計画道路の整備など）
- ・南海本線（石津川付近～高石市境付近）連続立体交差事業
- ・都市公園の整備

などに取り組み、人・モノが行きかい、誰もが快適に暮らせる魅力あるまちづくりを推進してまいります。

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

重点的に取り組むもの

1 安全・安心で災害に強いまちづくり

- 橋りょう耐震強化事業 1,393 百万円
- ・ 狭間川改修事業 104 百万円
- ・ 大和川スーパー堤防と一体となったまちづくりの推進事業 133 百万円
- ・ 都市公園における防災トイレの設置 53 百万円
- ・ 歩道等のバリアフリー化事業 253 百万円

2 人と環境に優しいまちづくり

- 地域緑化助成事業 11 百万円
- 道路照明灯LED更新事業 30 百万円
- (仮称)みどりのネットワーク推進事業 38 百万円
- 南部丘陵における緑地保全事業 38 百万円
- コミュニティサイクル事業 77 百万円
- 自転車通行環境整備事業 94 百万円

3 暮らしの質の向上と賑わい・交流のあるまちづくり

- 大仙公園整備事業 103 百万円
- 大仙公園魅力向上事業 330 百万円
- ◎ 仁徳天皇陵水環境改善整備事業 27 百万円
- ・ 出島百舌鳥線整備事業 10 百万円
- 阪神高速道路大和川線事業 10,387 百万円
- ・ 南海本線連続立体交差事業 1,660 百万円
- 南花田鳳西町線整備事業 8 百万円
- 大阪狭山線(バイパス)整備事業 455 百万円
- 天神公園整備事業 104 百万円

4 道路・公園などの適切な維持管理

- 地域整備事務所における道路・橋りょうの維持・補修・改良事業 4,434 百万円
- ・ 橋りょう長寿命化修繕事業 705 百万円
- ・ 河川水路維持管理事業 227 百万円
- ・ 公園維持管理事業 2,894 百万円

主な行財政見直し項目

- ・ 舗装補修計画や橋りょう長寿命化修繕計画に基づく計画的な維持補修の推進
- ・ 泉州水防事務組合負担金の見直し【人件費等の見直し ▲3 百万円】
- ・ 道路明示検索システムに要する経費の見直し【データスキニング費用の見直し ▲4 百万円】
- ・ 道路占用料の歳入増【条例改正に伴う道路占用料の見直し +80 百万円】